

(10) 対象基準地の前年標準価格等からの検討	①-1対象基準地の検討 ■継続 □新規				③ 価格形成要因の變動状況	[一般的要因]	建築費の高騰等により新築戸建の販売価格は上昇。中古も上昇したが、低金利や近時の景況感等を背景に需要は堅調に推移してきた。
	前年標準価格 149,000 円／㎡					[地域要因]	市役所建替（令和３年５月開庁）に伴い周辺の開発が増加。地価は、このところの不動産市況を反映して上昇となった。
	①-2基準地が共通地点（代表標準地等と同一地点）である場合の検討						
	□代表標準地 □標準地						
	標準地番号 -						
	公示価格 円／㎡						
	②変動率	年間 +2.0 %	半年間 %			[個別的要因]	個別的要因に変動はない。